



2025年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月9日

上場会社名	株式会社白鳩	上場取引所	東
コード番号	3192	URL	https://www.shirohato.co.jp/
代表者 (役職名)	代表取締役社長	(氏名)	菅原 知樹
問合せ先責任者 (役職名)	IR広報室長	(氏名)	中村 幸浩
定時株主総会開催予定日	2026年2月26日	配当支払開始予定日	(TEL) 075-693-4609
有価証券報告書提出予定日	2026年2月27日		—
決算補足説明資料作成の有無	: 無		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期の業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
2025年11月期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期	4,208	—	△131	—	△149	—	314	—
2025年2月期	6,274	△1.5	35	—	2	—	123	—
1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 営業利益率
2025年11月期	円 銭		円 銭	%	13.3	%	△2.6	%
2025年11月期	47.31		—		5.7		0.0	△3.1
2025年2月期	18.50		—		—		—	0.6
(参考) 持分法投資損益	2025年11月期		—百万円		2025年2月期		—百万円	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
2025年11月期	百万円		百万円		%	円 銭	
2025年11月期	5,786		2,520		43.6	378.66	
2025年2月期	5,959		2,205		37.0	331.35	
(参考) 自己資本	2025年11月期		2,520百万円		2025年2月期		2,205百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高
2025年11月期	百万円		百万円		百万円		百万円
2025年11月期	△284		1,204		△830		643
2025年2月期	326		△36		71		554

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年11月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2026年11月期の配当予想については、現在未定です。

当社は決算期(事業年度の末日)を毎年2月末日から毎年11月30日に変更しております。

経過期間である2025年11月期は9ヶ月決算となります。

3. 2026年11月期の業績予想 (2025年12月1日～2026年11月30日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,750	—	50	—	20	—	14	—	2.10

2025年11月期は決算期変更により9ヶ月決算であるため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数 |

2025年11月期	6,669,700 株	2025年2月期	6,669,700 株
2025年11月期	13,738 株	2025年2月期	13,738 株
2025年11月期	6,655,962 株	2025年2月期	6,655,962 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

2025年5月29日開催の第53回定時株主総会において、「定款一部変更の件」が決議され、決算期末日を2月末日から11月末日に変更いたしました。当事業年度は決算期変更の経過期間であり、2025年3月1日から2025年11月30日までの9ヶ月間の変則決算となることから、前期比は記載しておりません。

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が見られたものの、長引く物価上昇や実質賃金の伸び悩みなどを背景に、消費者の生活防衛意識は依然として高く、個人消費の持ち直しには足踏みが見られました。

Eコマース市場におきましては、市場規模の拡大が続く一方、物流コストの上昇や円安による仕入価格の高騰、新規参入による競争激化など、事業環境は厳しさを増しており、選別消費に対応した高付加価値商品の提供や、物流品質を含めた顧客体験の向上が競争優位の源泉となっております。

インナーウェア業界におきましても、健康志向やライフスタイルの多様化を背景に、着心地や機能性を重視するニーズが底堅く推移する一方、価格に対する感応度は高まっており、商品力と価格バランスの最適化が求められております。

このような環境のなか、当社国内Eコマース事業におきましては、仕入原価上昇に対応した価格適正化を慎重に進めつつ、日曜祝日の当日出荷体制の安定稼働など、配送サービスの利便性向上に取り組みました。また、2025年7月末に本店サイトをリニューアルし、消費者の悩みやシーン別での商品検索を可能にするなど機能を充実させ新規顧客の獲得に努めてまいりましたが、アクセス数の減少やPB（プライベートブランド）商品の伸び悩み、季節商材のNB（ナショナルブランド）商品の競争激化など、販売面において厳しい状況となりました。

海外Eコマース事業におきましては、前事業年度より推進しております中国以外の東アジア圏向け展開が堅調に推移しました。

なお、売上高に占めるPB（プライベートブランド）商品及びCB（コラボレーションブランド）商品の比率は27.2%となりました。

この結果、当事業年度の売上高は4,208,482千円、営業損失は131,210千円、経常損失は149,849千円、当期純利益は314,901千円となりました。

なお、当社は、ウェブサイトでのインナーショップ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の資産合計は、5,786,639千円(前事業年度末は5,959,547千円)となり、172,907千円の減少となりました。

流動資産は2,664,127千円(前事業年度末は1,996,793千円)となり、667,334千円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加(前事業年度末より89,161千円の増加)、売掛金の増加(前事業年度末より214,520千円の増加)及び商品の増加(前事業年度末より328,078千円の増加)によるものであります。

固定資産は3,122,511千円(前事業年度末は3,962,753千円)となり、840,242千円の減少となりました。その主な要因は、売却等に伴う建物(純額)の減少(前事業年度末より278,421千円減少)、土地の減少(前事業年度末より394,083千円減少)及び繰延税金資産の回収可能性について検討した結果に伴う繰延税金資産の減少(前事業年度末より123,312千円減少)によるものであります。

(負債)

当事業年度末の負債合計は、3,266,284千円(前事業年度末は3,754,093千円)となり、487,808千円の減少となりました。

流動負債は2,641,333千円(前事業年度末は1,934,817千円)となり、706,516千円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の増加(前事業年度末より400,000千円増加)、買掛金の増加(前事業年度より275,627千円増加)、未払法人税等の増加(前事業年度末より85,772千円増加)、及び1年内返済予定の長期借入金の減少(前事業年度末より93,980千円減少)によるものであります。

固定負債は624,951千円(前事業年度末は1,819,276千円)となり、1,194,325千円の減少となりました。その主な要因は、資金の借換えに伴う長期借入金の減少(前事業年度末より1,136,166千円減少)によるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は、2,520,355千円(前事業年度末は2,205,453千円)となり、314,901千円の増加となりました。その主な要因は、当期純利益の計上により利益剰余金が増加(前事業年度末より314,901千円の増加)したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ89,161千円増加し、643,588千円(前事業年度比16.1%増)となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは284,798千円の減少(前事業年度は326,006千円の増加)となりました。

その主な要因は、棚卸資産の増加333,417千円、仕入債務の増加274,643千円、及び売上債権の増加227,900千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,204,107千円の増加(前事業年度は36,766千円の減少)となりました。

その主な要因は、旧本社売却による収入1,280,440千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは830,146千円の減少(前事業年度は71,969千円の増加)となりました。

その主な要因は、長期借入金による収入681,000千円、短期借入による収入400,000千円があったものの、長期借入金返済による支出1,911,146千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、インバウンド需要の回復や賃上げによる消費マインドの改善が期待される一方、原材料価格や物流費の高騰、為替変動の影響など、依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

このような環境下において、当社は引き続き同業他社との差別化を図るため、独自性と利益率の高いPB（プライベートブランド）商品及びCB（コラボレーションブランド）商品の開発を強化し、他社にはない魅力的な商品ラインナップを拡充してまいります。

また、国内最大級のブランド取扱数を誇る当社の強みを活かし、ブランドの垣根を超えたコーディネート提案や買い回り（クロスセル）を促進するとともに、リニューアルした本店サイトにおいて、ユーザビリティ改善やパーソナライズされた販促施策を実施し、モール依存に留まらない自立した収益基盤を確立してまいります。

通期（2026年11月期）の業績予想としましては売上高6,750百万円、営業利益50百万円、経常利益20百万円、当期純利益14百万円を見込んでおります。

当社としましては、黒字転換を最重要課題と認識し、早期の復配を実現するとともに、持続的な成長及び企業価値の向上を図ってまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	554,426	643,588
電子記録債権	455	2,842
売掛金	297,837	512,357
商品	1,049,776	1,377,854
貯蔵品	21,723	27,062
前渡金	4,937	64
前払費用	41,112	48,324
未収入金	25,122	34,831
未収消費税等	—	15,020
その他	1,812	2,880
貸倒引当金	△411	△700
流動資産合計	1,996,793	2,664,127
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,741,075	2,282,313
減価償却累計額	△660,692	△480,352
建物（純額）	2,080,382	1,801,961
構築物	66,013	49,193
減価償却累計額	△35,156	△22,974
構築物（純額）	30,857	26,218
機械及び装置	744,337	744,337
減価償却累計額	△416,438	△457,037
機械及び装置（純額）	327,899	287,300
工具、器具及び備品	93,541	76,481
減価償却累計額	△78,085	△61,963
工具、器具及び備品（純額）	15,456	14,517
土地	1,291,928	897,845
有形固定資産合計	3,746,525	3,027,843
無形固定資産		
商標権	747	516
ソフトウェア	9,427	82,823
ソフトウェア仮勘定	75,742	—
無形固定資産合計	85,917	83,339
投資その他の資産		
出資金	810	810
差入保証金	5,141	5,384
敷金	810	760
破産更生債権等	2,602	3,495
長期前払費用	—	4,056
繰延税金資産	123,312	—
貸倒引当金	△2,366	△3,177
投資その他の資産合計	130,311	11,329
固定資産合計	3,962,753	3,122,511
資産合計	5,959,547	5,786,639

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	109,007	108,022
買掛金	167,155	442,783
短期借入金	1,200,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	128,030	34,050
前受金	6,050	–
前受収益	137	84
未払金	168,407	238,233
未払費用	49,715	71,063
未払法人税等	12,774	98,546
未払消費税等	33,361	–
預り金	3,312	8,384
契約負債	23,980	19,087
賞与引当金	27,665	13,283
その他	5,221	7,793
流動負債合計	1,934,817	2,641,333
固定負債		
長期借入金	1,760,416	624,250
長期未払金	3,859	–
繰延税金負債	–	701
その他	55,000	–
固定負債合計	1,819,276	624,951
負債合計	3,754,093	3,266,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,654	1,196,654
資本剰余金		
資本準備金	1,186,654	1,186,654
資本剰余金合計	1,186,654	1,186,654
利益剰余金		
利益準備金	1,500	1,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△179,266	135,635
利益剰余金合計	△177,766	137,135
自己株式	△87	△87
株主資本合計	2,205,453	2,520,355
純資産合計	2,205,453	2,520,355
負債純資産合計	5,959,547	5,786,639

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	6,274,053	4,208,482
売上原価		
商品期首棚卸高	1,189,315	1,049,776
当期商品仕入高	3,744,659	2,985,579
合計	4,933,974	4,035,355
商品期末棚卸高	1,049,776	1,377,854
商品売上原価	3,884,198	2,657,501
売上総利益	2,389,855	1,550,980
販売費及び一般管理費	2,354,207	1,682,191
営業利益又は営業損失(△)	35,647	△131,210
営業外収益		
受取利息	14	20
受取配当金	17	17
債務勘定整理益	119	229
協賛金収入	21	430
為替差益	-	978
受取手数料	441	435
助成金収入	1,218	1,218
受取補償金	292	129
賞与引当金戻入額	2,716	-
その他	877	628
営業外収益合計	5,719	4,089
営業外費用		
支払利息	30,562	19,920
アレンジメントフィー	5,000	-
雑損失	2,988	2,807
営業外費用合計	38,550	22,728
経常利益又は経常損失(△)	2,816	△149,849
特別利益		
固定資産売却益	-	676,976
特別利益合計	-	676,976
特別損失		
固定資産除却損	0	492
特別損失合計	0	492
税引前当期純利益	2,816	526,634
法人税、住民税及び事業税	3,240	87,718
法人税等調整額	△123,528	124,013
法人税等合計	△120,288	211,732
当期純利益	123,104	314,901

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

(単位：千円)

資本金	株主資本							純資産合計
	資本準備金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	1,196,654	1,186,654	1,186,654	1,500	△302,371	△300,871	△87	2,082,348
当期変動額								
当期純利益					123,104	123,104		123,104
当期変動額合計	-	-	-	-	123,104	123,104	-	123,104
当期末残高	1,196,654	1,186,654	1,186,654	1,500	△179,266	△177,766	△87	2,205,453

当事業年度（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

(単位：千円)

資本金	株主資本							純資産合計
	資本準備金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	1,196,654	1,186,654	1,186,654	1,500	△179,266	△177,766	△87	2,205,453
当期変動額								
当期純利益					314,901	314,901		314,901
当期変動額合計	-	-	-	-	314,901	314,901	-	314,901
当期末残高	1,196,654	1,186,654	1,186,654	1,500	135,635	137,135	△87	2,520,355

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	2,816	526,634
減価償却費	191,458	131,152
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,226	1,100
受取利息及び受取配当金	△32	△37
支払利息	30,562	19,920
有形固定資産売却損益（△は益）	-	△676,976
固定資産除却損	0	492
売上債権の増減額（△は増加）	△18,656	△227,900
棚卸資産の増減額（△は増加）	138,538	△333,417
仕入債務の増減額（△は減少）	△6,930	274,643
賞与引当金の増減額（△は減少）	330	△14,382
未払金の増減額（△は減少）	△6,654	69,826
長期未払金の増減額（△は減少）	△17,092	△3,859
契約負債の増減額（△は減少）	119	△4,892
その他	40,687	△14,819
小計	356,372	△252,515
利息及び配当金の受取額	32	37
利息の支払額	△27,158	△29,080
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△3,240	△3,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	326,006	△284,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,084	△3,456
有形固定資産の売却による収入	-	1,280,440
無形固定資産の取得による支出	△34,682	△17,926
その他	-	△54,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,766	1,204,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	200,000	400,000
長期借り入れによる収入	-	681,000
長期借入金の返済による支出	△128,030	△1,911,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,969	△830,146
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	361,208	89,161
現金及び現金同等物の期首残高	193,218	554,426
現金及び現金同等物の期末残高	554,426	643,588

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
1株当たり純資産額	331円35銭
1株当たり当期純利益	18円50銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益	(千円)	123,104
普通株主に帰属しない金額	(千円)	—
普通株式に係る当期純利益	(千円)	123,104
普通株式の期中平均株式数	(株)	6,655,962
普通株式増加数	(株)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。